



みんなで広げよう、見守りの輪！



私たちの住む地域に
どんな見守り活動が
あるのかみてみよう!!



地域でつながる子どもの見守り

「おっちゃん、おはよう！」「いってきます！」登校する子どもたちの元気な声が響きます。「安全協力委員」として、子どもたちの安全・安心のため地域で登下校の見守り活動をしている方々があります。活動を始めた経緯や現在の様子を、長年続けて来られた森本修弘（もりもと のぶひろ）さんにお聞きしました。➡ [次頁へつづく](#)



地域の見守りMAP



地域でつながる子どもの見守り — P1より続く —

子どもが事故に遭ったことがきっかけ

「自身が住むマンションの児童が事故に遭い、子どもだけで登校させることが不安なため、保護者の一人が見守りを始め、それに誘われたのがきっかけでした。」と森本さん。それ以降、平成23年から毎朝の児童登校の付添いと、夕方下校時間に声かけを続けています。夕暮れになり、遅くなったときは、子どもの安全のため、家まで見届けることもあるそうです。

見守りから始まる地域でのつながり

「当時の子どもは、大学生や社会人になっていますが、『こんにちは』と自分から声をかけてくれます。知らない親御さんからも、『いつもお世話になっております。』と声をかけられることもあり、地域の中で、自分たちの活動を知ってくれて、感謝されていることは嬉しいです。やっていて良かったと思える瞬間です。子どもも親御さんもみんなが安心できる地域での見守りを元気でいられる限り続けていきたいです。」と森本さんは語ってくださいました。



コロナ禍でも切れないつながりと見守り

子ども食堂あかね&宿題おわせ会では、コロナ感染拡大により、会食をお弁当のテイクアウトとフードパントリー※に切り替えて子どもたちの応援を続けています。開催方法の変更により顔ぶれは多少変わりましたが、ものの利用者は増え、子どもたちの笑顔はそのままです。どうしても取りに来られない家庭へはお弁当と食材の配達も行っており「子どもたちが喜んでくれると、こちらもうれしくなります。」と子ども食堂あかねの光岡さん。

一方、学習支援である宿題おわせ会は、緑台にある「あかねはうす」で再開しています。スタッフのみなさんは学習支援だけでなく「居場所」として、何気ないコミュニケーションを通して子どもたちの成長や小さな変化に気を配っておられます。

コロナ禍によって開催方法や頻度が変わっても、つながりを切らないよう子どもたちへの見守り活動が行われています。

※フードパントリーとは、企業などから提供された食品を無料で配布する支援活動のことです。

子ども食堂あかね

開催日：毎月第2・4火曜日
時間：午後5時～7時
場所：キセラ川西プラザ
2階食育ルーム

宿題おわせ会

対象：1人では勉強しにくい子
場所：あかねはうす
(緑台6-1-10)
開催日：あかねはうす(毎週水・金)
時間：小学生 午後3時半～5時半
中学生 午後6時半～8時半

主催：NPO法人 障害者地域生活応援あかね
連絡先：090(1962)5006

身近なお店での見守り活動

～トナリエ清和台の取り組み～

トナリエ清和台では施設内2階にあるcafe mukuにて、気軽にどなたでも参加してもらえる「ひとやすみカフェ」という認知症カフェや認知症サポーター養成講座を地域住民の皆さんと共に開催しています。講座には、トナリエの全店舗の従業員が関わっています。参加者からは「認知症の人にどう対応したらいいか考えるようになった」「勉強になった」と前向きな声。

講座を主催するトナリエ清和台運営管理室の本田さんは、「講座を受けると、地域住民や地域包括支援センターとの関わりや、店舗同士のつながりも生まれます。皆で地域全体のことを考える雰囲気になります。」と話されます。

身近な店舗と地域コミュニティが協力し、住み慣れた場所で安心して暮らし続けられるよう見守っています。

ひとやすみカフェ

開催日：毎月第4水曜日
時間：午後1時半～3時
場所：cafe muku(トナリエ清和台2階)
主催：トナリエ清和台
連絡先：072(799)0201
共催：清和台コミュニティ協議会福祉部会
(清和台地区福祉委員会)
連絡先：072(799)2940

「いこい」で生まれるつながりを見守り

グリーンハイツ地区福祉委員会のいこい部会が実施している居場所「いこい」カフェ。飲み物を飲みながらスタッフも交えたおしゃべりが弾みます。隣接する老人福祉センターや自治会館での行事の帰りに立ち寄る方も多く、文字通りの「いこい」の場所となっています。

スタッフは利用される方を気かけ、「あの人最近来ないなあ」などとお話をすると、利用者から「あの入院してるみたいやで。」などと教えてもらうことがあります。

また、利用者同士が「いこい」で知り合い、弾むおしゃべりの中で連絡先を交換し、「最近どう?」とお互いに連絡を取り合うこともあります。

このように、地域の居場所は人をつなぎ、地域の中に「気かけ合う」関係をつくっています。

「いこい」カフェでおしゃべりを楽しみましょう!



「いこい」カフェ

開催日：毎週月曜日～金曜日(祝日は休み)

時間：午前10時～午後4時

場所：「いこい」カフェ

(緑台老人福祉センター敷地内)

主催：グリーンハイツ地区福祉委員会(いこい部会)

連絡先：072(792)4411(なんでも相談「やまびこ」)

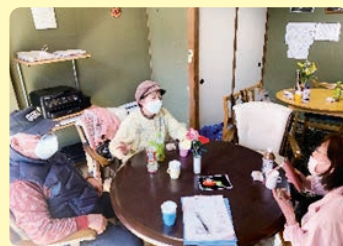
地域の居場所で一緒に活動をしてくれるボランティアも募集中です!

地域の身近な居場所での“気かけあい”

川西小地区福祉委員会が開催している、ふれあい喫茶「なごみ」では、地域の皆さんが集まって、おしゃべりや工作を楽しみながら交流されています。

住民同士や、喫茶を運営する福祉委員がつながり、「最近どう過ごしてるの?」など、お互いの近況を気かけあうような関係が広がっています。参加者の中には、「ここでみんなと話すのが楽しくて、いつも終わる時間ぎりぎりまでいるよ。」という方も! 継続して参加されていた方の中に、コロナの流行以降、来られなくなった方もいるそうですが、「そういう方にも、『元気にされているかな?』と、福祉委員が電話して、『また喫茶「なごみ」に遊びに来てくださいね。』とお声掛けしました。」というお話もありました。

コロナ禍でも地域のつながりが途切れないよう活動中です。ぜひ、喫茶「なごみ」で一緒に交流しましょう!



ふれあい喫茶「なごみ」

開催日：毎月第1月曜日

時間：午前11時～午後2時

場所：小花会館

主催：川西小地区福祉委員会

(ふれあい喫茶「なごみ」部会)

連絡先：072(759)5200(市社協)



一人暮らし高齢者の見守り

～民生委員児童委員活動～

民生委員児童委員の中田さんは、一人暮らしのAさんから、「もう施設に入りたい。」と相談があったことをきっかけに、中田さんの自宅できききお話を聞いています。その後、中田さんから地域包括支援センターに相談し、介護サービスにつなぎました。「民生委員さんが近くにいることで、本当に心丈夫です。」とAさん。「民生委員は、介護サービスにつないだら終わりではなく、地域でずっと見守り続けるのが仕事。いざという時に、顔を思い出してもらえよう日々活動しています。」と中田さんにはこやかに話されます。



ともこ
◀左：民生委員児童委員 中田 頼子さん

川西市民生委員児童委員協議会連合会事務局
連絡先：072(759)5200(市社協)

まずはあなたの地域でできることから

今回は住民の皆さんが行っている様々な見守り活動を紹介しました。安全協力委員や、ボランティア活動に参加するのはハードルが高いと感じる方も、登下校中の子どもたちに挨拶をしてみることや、近所の一人暮らしのお年寄りが元気かなと少し“気かけ”ことから始めてみませんか? 日々の気かけあいで住民同士や地域全体のつながりがより一層深まり、困ったときに助けあえる関係が広がります。

見守りや気かけあいの中で、少し心配な方がいるけれど誰に相談したらいいかわからないというときは、川西市社協にご相談ください。☎072(759)5200

地域の見守りが家族の支えに

～ 介護者家族の声 ～



▲自宅で若年性認知症の妻の介護を
長年続けている川並隆さん

① 認知症の発症

現役時代は、仕事でアジアの国々を飛び回り、不在がちで、子どもの受験の時期に妻にはストレスをかけてしまったと思います。隣人から、「奥さん、最近おかしいですよ」と言われて初めて認知症だと気づきました。

妻の認知症が進み、海外滞在中に頻繁に電話が入るなどして、離れて生活することに限界を感じ、退職を決意しました。妻は当時まだ若く、よく歩き回るため、マンツーマンでの介護は大変でした。



買い物の際、電車の中、様子が気になる方を見かけたとき、あなたの「大丈夫ですか」という声かけが誰かのサポートにつながるかもしれません。

② 何度も行方不明に

これまでに何度もいなくなり、警察や地域の人に世話になりました。自宅で自身がトイレに入っている間や、買い物の際にレジでお金を払っている間など、ふとした瞬間にいなくなり、気が休まる時間がありませんでした。時には、高校生、近所の人や知人に連れて帰ってもらうこともありました。とても一人では介護を続けて来られなかったと思います。

③ 支えてくれた人たち

妻が認知症であることを地域の人に声かけをしておくことが非常に大きかったです。現在は、妻の認知症をオープンにしたことで、自分の気持ちが安らいでいます。一人で抱え込むと苦しむのは自分自身とわかりました。近所や商店街の方に声かけをしてから、自分の気持ちが楽になりました。また、介護者家族の方とつながり、介護経験の話を聞いたことが良かったことです。経験者の話を聞いて、病気の理解ができるようになり、気持ちにゆとりができました。今では、「りんどうの会」でお茶を飲みながらお互いに交流しています。

* 若年性認知症の会りんどう(RING・DO)の会

☎072(759)5200(市社協)

《 福祉の相談窓口 》

● 社会福祉総合相談 ●

月～金 午前9時～午後5時 ☎072(759)5202

どこに相談すればよいかわからないとき

● ボランティア活動センター ●

月～金 午前9時～午後5時 ☎072(759)5200
第3土曜 午前10時～正午

ボランティアの依頼・活動に関すること

● 心配ごと相談 ●

月・木 午後1時半～午後4時 ☎072(759)8611

日々の暮らしの悩みごとなど

● ファミリーサポートセンター ●

月～金 午前9時～午後5時 ☎072(740)6800
会員登録と入会説明(要予約)

子どもの預かりと送迎のサポート



シャーちゃん

名前募集!!



キョーちゃん

「社協かわにし」の名前が変わるよ!!

川西市社会福祉協議会が年3回発行している広報紙「社協かわにし」の名前を募集しているんだって!!キョーちゃん!!

1人何回でも応募できるんだって! たくさん名前を考えて応募してみよっと! ねえ、キョーちゃん! 応募するにはどうしたらいいのかな?

そうだねシャーちゃん!!住民の皆さんに愛される名前になったら嬉しいね! 募集期間は**令和4年6月1日(水)～令和4年7月15日(金)**だよ!

応募方法は左記のURL、もしくはQRコードから! 皆さんが応募してくださった作品は、いくつかに絞って9月号で紹介し、改めて読者の皆さんに投票していただきます。採用作品は3月号で発表予定! 採用者にはプレゼントを用意してるよ! 皆さんのご応募待ってまーす!

応募フォーム

URL: <https://forms.gle/wNdoW3tkTJhNT9bE6>

右記QRコードからもアクセスいただけます








注意事項にや～

応募者は、応募した内容の一切の権利は社会福祉法人 川西市社会福祉協議会へ譲渡し、著作権法 第27条、第28条を含む著作人格権の移転についても同意したものとします。

以下に当てはまる作品は、審査対象外とします。また、審査後に審査対象外となる事由が認められた場合、採用を取り消す場合があります。

1. 川西市社会福祉協議会またはその他第三者の名誉、信用、プライバシー等の権利を侵害するもの。
2. わいせつ・残虐・差別に相当するもの、その他第三者に不快感を与えるもの。
3. 公序良俗に反するもの。
4. その他川西市社会福祉協議会が適当でないと判断したもの。

令和4年度 市民後見人養成研修事前説明会のご案内

後見人として、
あなたも一緒に活動しませんか?

認知症や障がい等によって、判断能力が十分でない方を身近な市民の立場で支える「市民後見人」の養成研修を実施します。

市民後見人としての活動を通じた社会貢献に意欲のある方は、ぜひご参加ください。

川西市では、これまでに6名が家庭裁判所より市民後見人として選任されており、今後ますます市民後見人の活躍が期待されています。まずは事前説明会にご参加ください。養成研修受講には事前説明会への参加が必要となります。

第1回 令和4年6月21日(火)

第2回 令和4年6月24日(金)

時 間: 午前10時～11時半

〔オンライン参加可能。
都合の良い日にご参加ください。〕

場 所: キセラ川西プラザ福祉棟2階共用会議室

申込締切: 令和4年6月17日(金)

応募フォーム <https://forms.gle/omcFQ6K7xcznSg976>

*養成研修の受講には川西市在住等の要件があります。

川西市成年後見支援センター“かけはし”

☎072(764)6110 E-mail: kakehashi@k-shakyo.or.jp



● 善意銀行だより ～ たくさんの善意をありがとうございます ～

【預託の部】

団体名・氏名	金額(円)
2月分ー現金ー	
徳栄建設(株)	5,000
石光 徹	2,000
ハイクおじさん	10,000
喜来我会	3,000
うさぎ自動車	1,000
ササベケーエス	2,000
匿名	10,000
恵	3,000
3月分ー現金ー	
宮嶋 禎造	100,000
ゆかりの会	18,998
川西友の会	3,000
清和台一市民	2,000
川西市高齢者大学りんどう学園水墨画学科	9,290
川西市高齢者大学りんどう学園わがまち学科	1,861
コープうねの ふれあいサロン	1,348
串かつあさひ	3,000
うさぎ自動車	1,000
匿名	3,000
一市民	20,000
川西さくら園保護者会	844,125
アルミ缶収益下加茂加寿会	10,000
アルミ缶収益美園町さつき会	10,000
ササベケーエス	2,000
恵	3,000
S	5,816
グリーンハイツ歩こう会	9,652
喜来我会	3,000
社協募金箱	742

【預託の部】

団体名・氏名	内容及び数量
2月分ー物品ー	
金光教東谷教会信徒会	・ 清拭布850枚
3月分ー物品ー	
生活協同組合コープこうべ 第一地区本部	・ お米120kg
山下一市民	・ リハビリパンツ4袋、紙オムツ2袋、尿とりパット7袋、おしりふき3袋、ハンドミキサー1台、プラスチック手袋1箱、口腔ケアスポンジ10本、ハンドソープ詰め替え用1袋、消臭シート3袋
上田 晴美	・ 不織布マスク467枚
ヤスオ、エイコ	・ おしりふき7袋、リハビリパンツ3袋、尿とりパット1袋

【支出の部】

※寄付者のご希望により未記載のものがあります。
令和4年2月1日～3月31日 受付分(敬称略・順不同)

団体名・氏名	金額(円)
2月分ー現金ー	
修学旅行補助(1名)	12,000
子ども食堂(1団体)(指定払出)	500,000
3月分ー現金ー	
生活一時つなぎ資金	11,000
子ども食堂(5団体)(指定払出)	100,000
修学支援金(6件)	180,000
川西さくら園(指定払出)	844,125
大和地区福祉委員会(指定払出)	1,348

【支出の部】

内容
2月分ー物品ー ・産着、下着、肌着、スパッツ ・布マスク
3月分ー物品ー ・リハビリパンツ、尿とりパット、おむつ、おしりふき ・口腔ケアスポンジ、プラスチック手袋、消臭シート ・不織布マスク、布マスク ・ハンドソープ、ハンドソープ詰め替え用 ・バスタオル、フェイスタオル、肌着、衣類 ・ハンドミキサー

ボランティア基金だより

団体名・氏名	金額(円)
2月分ー現金ー	
内藤	3,000
3月分ー現金ー	
匿名	3,000
笹部一市民	1,000
秋山 博	1,000
中村 多喜美	3,000
内藤	1,000
ボランティア基金窓口募金箱	70

ご寄付をご検討中の方へ

銀行振込でのご寄付をご検討中の方は、事前に下記までご連絡いただきますようお願いいたします。また、税額控除の証明書をご希望の方は、合わせてお知らせください。

また、物品のご寄付に関しましては、新品未使用かつ未開封の物品をご寄付くださいますようお願いいたします。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

川西市社会福祉協議会 企画・総務チーム 072(759)5200

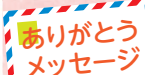


あかはねちゃんニュース

皆さまからお寄せいただいた募金が、どのように“安心して暮らせるまちづくり”に役立っているかをご紹介します。

【共同募金配分金による団体への助成】

団体名：子育てひろば『親子リズム ぶーさんクラブの会』 代表者：山崎 佐和さん



◀クリスマス会の様子

人形劇では、子どもたちがとても集中していて、歌に合わせて手拍子をしたり、とても楽しんでいました。サンタさんにプレゼントをもらえて、家に帰ってから興奮が冷めず、おしゃべりが止まらなかったという様子を聞いて、コロナ禍でもクリスマス会を開催してよかったと思いました。助成金のお陰で、楽しいひと時を皆で過ごすことができました。ありがとうございました。



令和3年度共同募金配分金事業では、小地域で支えあうつながりづくりのため、希望された地区福祉委員会に、貸出用の車いすを寄贈しました。車いすの貸出しを必要とされる方は、川西市社協へご連絡ください。



あなたも気になるボランティア情報

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によりやむを得ず事業を中止する場合があります。

令和4年度 ボランティア1日体験教室

学生・勤労者のみなさん この機会にぜひお越しください。

日 程：6月18日(土) 点字
7月16日(土) ネイルアート&メイクセラピー
時 間：午前10時～正午
受講料：無料
場 所：キセラ川西プラザ福祉棟2階 共用会議室
定 員：15名
締 切：前日

令和4年度 笑いからはじまるコミュニケーション講座

日 時：8月20日(土) 午後1時半～3時半
場 所：キセラ川西プラザ福祉棟2階 大会議室
受講料：無料
講 師：ほっとほほえみ
内 容：お互いを認め合うコミュニケーションや発想の転換方法を学び、地域にほほえみや笑いを引き出します。
定 員：30名
締 切：8月19日(金)

令和4年度 子ども手話教室 ～家族も一緒にどうぞ～

日 時：7月23日～9月10日の毎土曜日(全7回)
午前10時～正午 ※8月13日休講
場 所：キセラ川西プラザ福祉棟2階 共用会議室
受講料：大人300円、学生以下150円
講 師：川西ろうあ協会と手話サークルクローバ
内 容：手話を通じて聴覚障害児・者の理解と交流
定 員：20名
締 切：7月21日(木)

ボランティア活動相談

ボランティアに興味をお持ちの皆さんお気軽にお立ち寄りください

日 時：毎月第3土曜日 午前10時～正午
場 所：キセラ川西プラザ 福祉棟1階 市社協内
内 容：ボランティア活動を始めようとしている方を対象に活動内容の紹介や説明を行っています。
※上記日程以外にもボランティア活動センターにおいて、平日の午前9時から午後5時半の間、随時相談を受け付けています。

● 申込み・問い合わせ先 ●

ボランティア活動センター
TEL 072(759)5200 FAX 072(759)5203
E-mail : vc@k-shakyo.or.jp

地域の助け合いは自治会と連携

かわにしファミリーサポートセンター

参加費 無料 第1回講習会
テーマ：「傾聴・共感を学ぼう！」
～さまざまな見方・考え方を持つ人との
コミュニケーションの取り方～

日 時：6月28日(火) 午前10時～正午
場 所：キセラ川西プラザ 福祉棟3階 講座室
講 師：アドラーカウンセラー 上野早予子さん
定 員：30名(要予約)※保育3名あり(1才半以上)
対 象：子育て支援に興味がある方(ファミサポ会員・市民優先)
申込み：川西市社会福祉協議会 ファミリーサポートセンター
TEL : 072(740)6800
E-mail : famisapo@k-shakyo.or.jp

令和4年度社協会員募集スタート！

あなたの地域の福祉活動をサポートしませんか？
一緒に地域を盛り上げましょう☆
社協会員について詳しく知りたい
方は右のQRコードから
チラシをチェック！



赤い羽根共同募金
助成事業

まちの子育てひろばへの 共同募金助成金のご案内

地域における子育て支援を目的に、親子が交流する場の提供などを川西市内で行っている、県に登録している子育て自主グループと、市のこども支援課に登録しているまちの子育てひろばに、共同募金配分金を助成いたします。希望されるひろば・グループは、本会にご連絡ください。

●助成金額は、エントリー数、活動回数によって変動します。
(参考：令和3年度 17ひろばに対して32,000円配分、
7ひろばに対して38,000円配分)

●申込み 川西市社会福祉協議会 地域福祉チーム
TEL : 072(759)5200 FAX : 072(759)5203
URL : <http://www.k-shakyo.or.jp/>
E-mail : tiiki@k-shakyo.or.jp



締切日 令和4年7月15日(金)

※なお、締切日後の受付はできませんので、締切期日にご注意ください。
期日までにFAX、メールもしくは電話にてお申し込みください。
FAX、メールの場合には本会ホームページより希望書をダウンロードして全項目を明記の上、送ってください。

「社協かわにし」への広告は、社協会員費2万円～受け付けております。会員会費は川西市の地域福祉に役立てられます。

施術内容

ボディケア

鍼灸

灸

ストレッチ

やまさわ鍼灸整骨院

訪問鍼灸
無料体験
実施中

〒666-0006
川西市萩原台西1-72
☎072-776-2511

ウーブス

ヘア

デザイン

OOPS Hair design

tel.072-758-1927 予約優先制

〒666-0032 兵庫県川西市日高町10-12
(川西能勢口駅から徒歩10分/駐車場8台あり)

《受付時間》AM9:00～PM6:00
(パーマ+カラーPM5:00迄)

《定休日》毎週月曜日・火曜日
(8月・12月は除く)

JR川西池田駅・阪急川西能勢口駅より
お車での送迎あり！ご予約の際にお伝え下さい！

スマホで簡単アクセス！

OOPS 川西 検索
<https://oops-hair.jp>
ホームページはこちら
Instagramはこちら

社協 かわにしには、皆さまからの社協会員会費、赤い羽根共同募金配分金が活用されています。